

もっと知りたい/ 関節リウマチ

全国リウマチ医インタビュー

【神奈川県座間市】

vol. 34

座間総合病院

人工関節・リウマチセンター
リウマチ科 顧問

笠間 毅先生

かさま・つよし 1984年昭和大学医学部卒業。米国シシガン大学留学後、再び昭和大学医学部にて教鞭をとる。2014年江東豊洲病院リウマチ・膠原病内科診療科長を経て17年同病院院長に就任。23年から現職。日本リウマチ学会専門指導医。日本内科学会総合内科専門医。



長期にわたる治療を 内科と整形外科の両面から総合サポート

豊富な人工関節術例と 円滑な他科連携

座間市のある神奈川県中央部は、リウマチ専門医のいるクリニックが少ない地域です。その中で当センターは、人工関節専門医と連携し内科治療と併せて関節リウマチを含めた関節疾患の患者さんを総合的に診ており、継続して同じ場所で治療を

受けられるのが特徴の一つです。リウマチ治療は近年、薬剤開発が大きく進展、治療選択肢も増えたこともあり、外科手術は減少傾向ですが、当センターは日本で初めての人工関節専門施設として、リウマチによる関節変形を含む股関節や膝関節の人工関節置換術を年間500件以上実施しており、県内有数の手術実績を誇っています。

例えば、関節破壊が進行した状態が悪い患部は人工関節手術で対処し、以後は薬物治療でフォローし、理学療法や作業療法の専門スタッフが在籍するリハビリセンターも併用して診ていく方法もあります。他にも難治性症状の方なども来られますが、将来的には手術も視野に入れながら診療に当たっています。

患者さんとともに治療に 取り組むことを第一に

リウマチ治療は長期にわたり、使用薬剤も多様で一定の費用負担も生じます。私自身も専門医として、治療の目標や内容を患者さんと常に共有し、状況に応じて薬剤の種類変更や減薬など

COLUMN

地域向けに 健康講座を定期開催

同院では開院以来、患者とその家族、地域住民などを対象に「座間総健康講座」を定期開催しており、延べ約60回となります。テーマも、関節リウマチや人工関節関連にとどまらず、子宮筋腫、睡眠、フレイル、心疾患など多岐にわたります。少しでも医療や病院を身近に感じてもらう、日々の健康維持・増進に役立ててもらうことを目的としています。



も見極めつつ、費用対効果のより高い治療方法を選び、ともに取り組むことを大事にしています。私が免疫学に関心を持ち、リウマチ医を目指した1980年代当時はまだ、リウマチ治療の黎明期で専門医の数も薬も不十分でしたが、現在では臨床的寛解、そして構造的、機能的寛解も含めた完全寛解、さらには薬剤フリーの治療までも目指せる時代になったわけです。

地域連携では、近隣のクリニックなどから関節症状の患者さんや診断に苦慮する症例なども積極的に受け入れており、症状に改善が見られる方や通院が負担になる方などは、ご自宅に近いクリニックの先生方にお任せして病診連携をとっています。

【座間総合病院（神奈川県座間市）】

2016年に開業、現在352床を備える。人工関節・リウマチセンターは、1997年に海老名総合病院に併設された、日本初の人工関節の専門施設を母体にしており、開院時に移設されたもの。股関節、膝関節について数千例の人工関節置換術の実績をもつ。リウマチ治療でも薬物治療に加えて手術治療も積極的に行う。

